

保証意思宣明書 (質問事項書兼回答書)

あなたがこれからしようとしている保証契約について、以下のことをお答え下さい。

1 当事者について (※回答欄が不足の場合は、裏面に適宜記載して下さい。)

(1) 債権者の住所・氏名 (法人の場合は所在地・法人名と代表者名)	住所 フリガナ 氏名(法人名) (代表者名)
(2) 主債務者の住所・氏名 (法人の場合は所在地・法人名と代表者名)	住所 フリガナ 氏名(法人名) (代表者名)

2 保証債務の内容について

※(2)、(3)、(4)、(5)については、無・有を○で囲み、有の場合はその内容を記載して下さい。

(1) 貸金等の元本額 弁済期・弁済方法	
(2) 利息の定め	無・有(内容)
(3) 違約金に関する定め	無・有(内容)
(4) 損害賠償(遅延損害金)に関する定め	無・有(内容)
(5) その他保証すべきもの(その債務に從たる全てのもの)の定め	(契約費用、訴訟費用など(1)~(4)以外で保証するものがあれば記載して下さい) 無・有(内容)

3 主債務者からの情報の提供について

主債務者は、保証人となることを依頼するときに、依頼の相手方に、①主債務者の財産及び収支の状況、②本件の主債務以外に負担している債務の有無並びにその額及び履行状況、③本件の主債務の担保として他に提供し、又は提供しようとするものがあるときは、その旨及びその内容に関する情報を提供しなければならない、とされています。**あなたは、主債務者から、このような情報の提供を受けたでしょうか。**主債務者からの保証の依頼の有無と併せてお答え下さい。

※下記(1)又は(2)を○で囲んで下さい。提供を受けた情報の内容、その他補足することがあれば右の欄に記載して下さい。

(1) 情報の提供を受けた。 (2) 情報の提供を受けていない。 主債務者の依頼を受けた・受けない	
---	--

4 保証債務を履行する意思について

保証人は、主債務者が債務を履行しないときは、自ら、保証した債務の全額を履行しなければなりません。また、連帯保証の場合には、主債務者が債務を履行しないときは、債権者が主債務者に催告したかどうか、主債務者が履行できるかどうか、又は他に保証人があるかどうかにかかわらず、その債務の全額を履行しなければなりません。**あなたは、このことを理解した上で保証契約をしますか。**※下記(1)又は(2)を○で囲んで下さい。質問等があれば右の欄に記載して下さい。

(1) 理解した上で、保証契約をする。 (2) よくわからないので説明してほしい。	
--	--

5 その他の事項 (質問等があれば、記載して下さい。)

Blank box for other items.

以上のとおり、相違ありません。

令和 年 月 日

嘱託人 住所
フリガナ
氏名

生年月日(大正・昭和・平成) 年 月 日生